

教員養成課程における タブレット型 PC の導入と修学支援の取組み

新里 高史*1・中井 傑*1・石川 康夫*2・高祖 健太*2・阿濱 茂樹*3

Email: zato@sings.jp

- *1: 山口大学生協同組合
- *2: 大学生協中国・四国事業連連合
- *3: 山口大学教育学部

◎Key Words ICT 活用教育, タブレット型 PC, PC リテラシー

1. はじめに

高度情報社会において学校教育の ICT 化が推進され、ICT 活用の効果が期待されている。そして、大学の教員養成課程においても ICT を活用した教育実践を進めることが求められている。

そうした状況に対応するため、山口大学では必携とし各学部で推奨するパソコンについてもタブレット型の PC を選定し、ICT 活用の習熟度を向上させる取組みを行っている。組合員である学生が効果的に修学するための支援として、メーカーと生協が協働して総合サポートをする取組みを試みた。



図1 教育実習における実地授業の様子

2. 教員養成課程におけるタブレット型PCの導入

2.1 初年次教育におけるPC利用

山口大学では新入生向けの情報リテラシー科目を開講し、入学直後より PC リテラシー習得を促している。具体的には必修科目である情報リテラシー演習（平成 29 年度まで）やデータ科学と社会 I（平成 30 年度より）などで、高校までに習得した PC リテラシーの確認に加え、セキュリティやデータ管理などに関する知識や技能の習得を行っている。これらの科目の学習支援としては、moodle による教材提供も行われており、課題提出もそれらによって行われている。また、教職概論など入門科目においても情報モラルなど PC 利用に関わる学習指導が行われている。

2.2 専門科目におけるPC利用

教育学部における専門科目では、各教科の指導法の授業などで PC を利用し、教育実習でも自身の PC で教材作成や指導案の作成を行っている。各教科の指導法の授業では ICT 機器を活用した内容を盛り込むことが求められており、指導案作成などの事務的作業だけでなくスライド作成や学習支援システムなどを利用した模擬授業なども取り込まれている。教育実習における実地授業の様子を図 1 に示す。これらの内容は、従来からの PC 利用のスタイルを超え、タッチパネルで画面を操作したり、表示された内容を拡大したりしながら演示することが求められている。

さらに、教育の情報化に対応する能力を身に着けるための科目である学習メディア論などでは、様々な ICT 機器やシステムを体験的に利用する機会も設けられている。学習メディア論の授業の様子を図 2 に示す。



図2 学習メディア論の授業の様子

3. 修学支援の取組み

3.1 生協独自の支援

山口大学では効果的な修学のために、ノート PC を必携とし、各学部で推奨機種を選定している。それらの代理店として山口大学生協ではすべての学部・学科で推奨された機種を取り扱っている。また、モノの提供からコトの提供への転換として、それらを購入した学生のために修理やトラブルの相談が随時可能な PC サポートデスクの開設と大学生活における Microsoft Office の活用法を指導する PCSS を実施している。

これらに加えて、平成 29 年度より教育学部で導入されたタブレット型 PC であるマイクロソフト Surface の機能をより詳しく学び、学修活動に活用するために有志を募り自主的な学習の場として YU-SURF (Yamaguchi University Surface Utilization Research Team for Faculty of Education) を実施した。

YU-SURF の内容として具体的な活動を表 1 に示す。また、活動の様子を図 3 に示す。

表1 YU-SURF の活動

項目	説明
Surface 貸出	Microsoft によるワークショップ 【内容】 ・ Office Lens ・ Windows Ink と SurfacePen ・ Office Mix
活用事例報告①	Surface を使用した所感・活用法の共有 教育実習の教材準備
活用事例報告②	教育実習での活用法を YU-SURF 内で共有
OneNote ワークショップ	OneNote の活用の仕方についての解説, 操作技能の習得
活用事例報告③	OneNote 活用方法の共有
教育実習報告会	1 学年下の教育学部生に向けて Surface を活用した教材・授業づくりの成果報告
まとめ	成果物として Surface したことリストの作成



図3 YU-SURF の活動の様子

YU-SURF ではワークショップで学んだ Office Lens や Windows Ink と SurfacePen を利用した教材研究の方法について参加者の工夫方法などが共有され, より効果的な活用方法の議論が行われていた。また, OneNote を活用したデジタルポートフォリオの作成の仕方については, 内容を共有する試行が行われていた。Office Lens を活用した教材研究例を図4に, 教育実習におけるデジタルポートフォリオの例を図5に示す。



図4 Office Lens を活用した教材研究例



図5 教育実習におけるデジタルポートフォリオの例

3.2 メーカーと協働した支援

タブレット型PCの特徴をより活かした利用を推進するために YU-SURF の初回に推奨機種である Surface のメーカーであるマイクロソフトと協働してワークショップを開催した。ワークショップの様子を図6に示す。



図6 マイクロソフトによるワークショップの様子

参考文献

- (1) 文部科学省: “教育の情報化ビジョン～21 世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～”, (2011) .
- (2) 森下孟, 東原義訓: タブレット端末を活用した協働学習を初めて受けた学習者が感じる “楽しさ” への一考察, コンピュータ&エデュケーション VOL.37, (2014)p. 73-78
- (3) 一般社団法人日本教育情報化振興会: “『先生と教育行政のための ICT 環境整備ハンドブック 2015』”, (2015) .